

医療と福祉の責任を放棄し、炭鉱資本の応援すすめる斉藤市政



筑豊労災病院の前で国の責任による
存続を求める人々

豊
筑
豊
労
災
病
院

地域医療振興協会

民間への丸投げで医療は守れるか

● 国の責任で存続するのがいちばんいい

市議会

特別委員会で調査をスタート

市長は9月20日、筑豊労災病院を国の労働者健康福祉機構から買い取り、市立病院としたうえで、民間（地域医療振興協会）に運営を任せる計画を発表しました。医師の異動や2次委託などにより、医療水準が後退しかねない場合、「市がものを言う法的根拠があるか」との質問に、市は答弁しませんでした。

いっぽう、市立頼田病院は愛生苑（養護老人ホーム）とともに、株式会社麻生グループに無償譲渡すると言って、すでに交渉を始めています。市立病院を維持して、地域医療に責任を負う立場は、どこにも見えません。

「労災病院は国が責任を持って存続するのがいちばんいい」という声を大事に、市長は住民や患者とともに、大臣への直接要請も含めて、国に対して粘り強く要求していくべきです。

麻生には頼田病院をタダでゆずり、三菱の炭坑跡地に巨額の税金投入



飯塚市議会議員
川上 直喜

住民の求める行財政改革に逆行し 市財政はさらに深刻に

日本共産党は、学校の耐震調査費（対象121棟）や台風13号の災害復旧を計上した一般会計補正予算案、市文化振興基本条例案などに賛成しました。

その一方で、麻生グループへの譲渡が前提の養護老人ホーム愛生苑取得議案、住民サービスの低下につながる指定管理制度の導入（忠限住民センター／穂波総合福祉センター）、事業者責任の規定が不十分な市自然環境保全条例案に反対しました。

とくに、必要性が厳しく問われている道路づくりを理由に、麻生3社と三菱などから約5000万円をかけて土地を買い取る議案は、提出が遅れた原因の調査も不十分であり、撤回

を求めて反対しました。

一般質問では、宮嶋つや子議員が筑豊労災病院を国から買収し、そのまま民間に丸投げする問題点を厳しく指摘、また、国道201号バイパス工事は子どもの安全確保に万全を期すよう要求しました。

川上直喜議員は、介護保険料減免の充実、電動ベッドと車いすの貸出し継続を求めて助成を要求。三菱炭坑跡地の工業団地計画を追及し、政治家、行政と業界の幹部の関係は透明であるべきだと主張しました。

《日本共産党提出の意見書》

○乳幼児・障がい者・母子家庭医療実施に伴う国庫負担金削減に関する意見書（賛成多数）

○集配局の廃止再編計画に反対する意見書（賛成多数）

<http://www.jcp-iizuka.jp/>

